

第4回 松江市街地内水対策検討会

平成21年12月22日

国土交通省・島根県・松江市

目次

1. 橋南地区内水解析
 - (1) 内水対策検討ケース
 - (2) 解析結果(河道条件A)
 - (3) 解析結果(河道条件B)
2. 橋北地区内水排除P位置の選定
3. 二次内水対策
4. 流域対策
5. 今後の予定

1. 橋南地区内水解析結果

- 外水条件

外水位 : 昭和47年7月豪雨計算水位

河道条件A ダム・放水路、大橋川改修完成後

河道条件B ダム・放水路完成後、大橋川築堤護岸・水門整備後

対象降雨 : 昭和47年7月実績降雨

- 内水条件

内水河川 : 現況河道

対象降雨 : 昭和47年7月実績降雨(松江气象台観測値)

下水道 : 雨水排水施設整備後

許容湛水位 : T.P.+1.40m

解析範囲 : 別図参照

解析モデル : **統合型氾濫解析モデル**

流出計算 : 等価粗度法

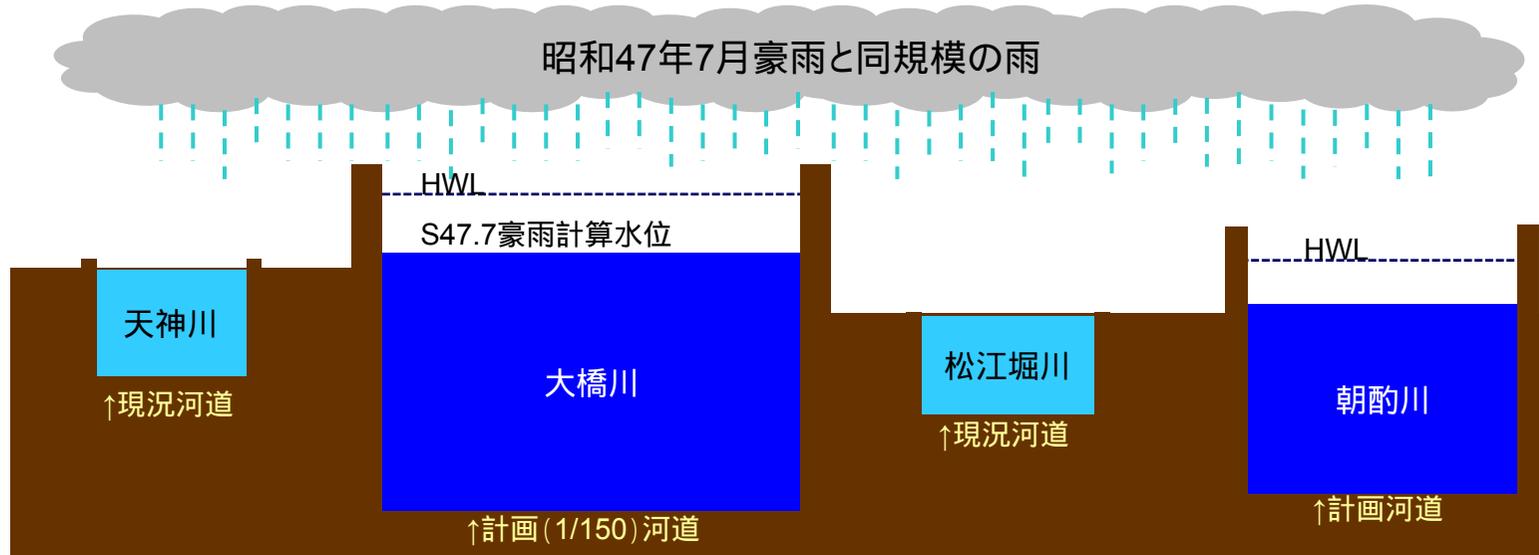
水門操作 : 呑口部外水位 T.P.+1.20m 水門閉

吐口部外水位 T.P.+1.40m(許容湛水位) 水門閉

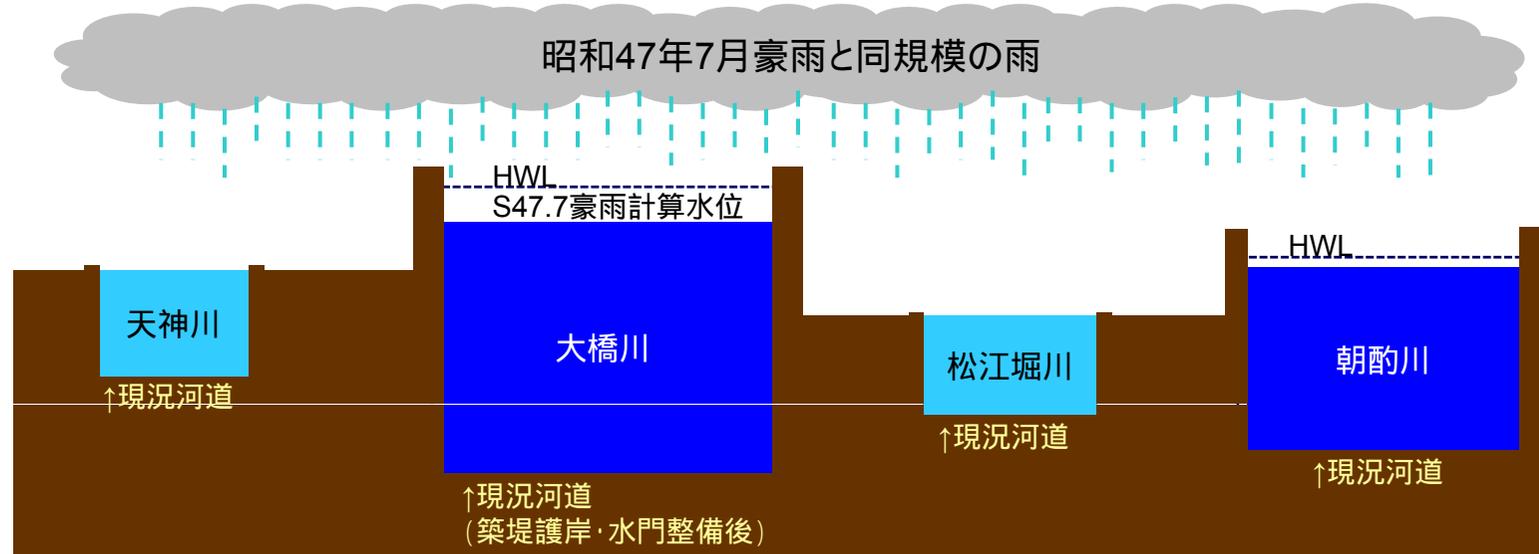
権太夫川水門は常時閉

(1) 内水対策検討ケース

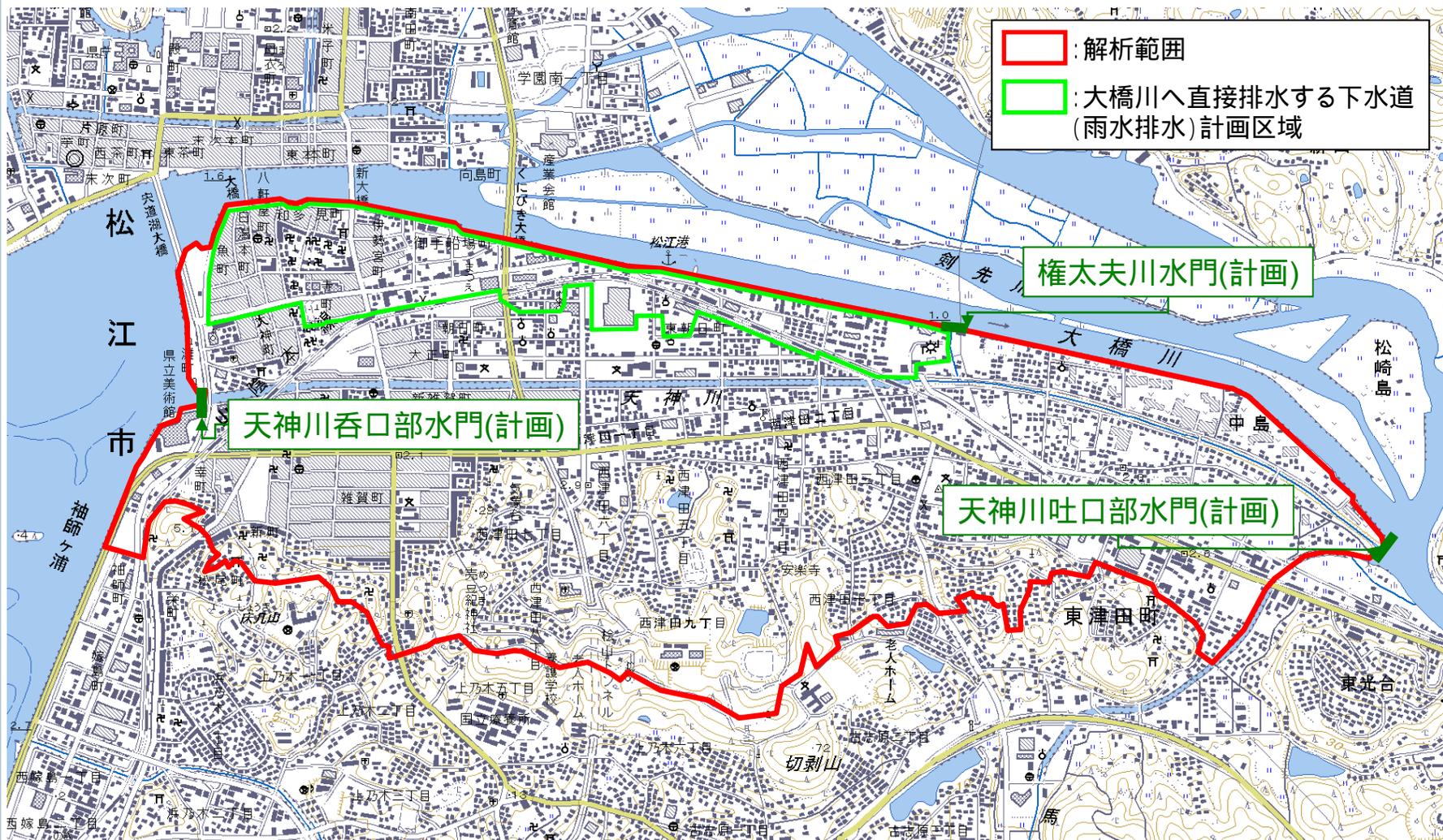
■ 河道条件A



■ 河道条件B

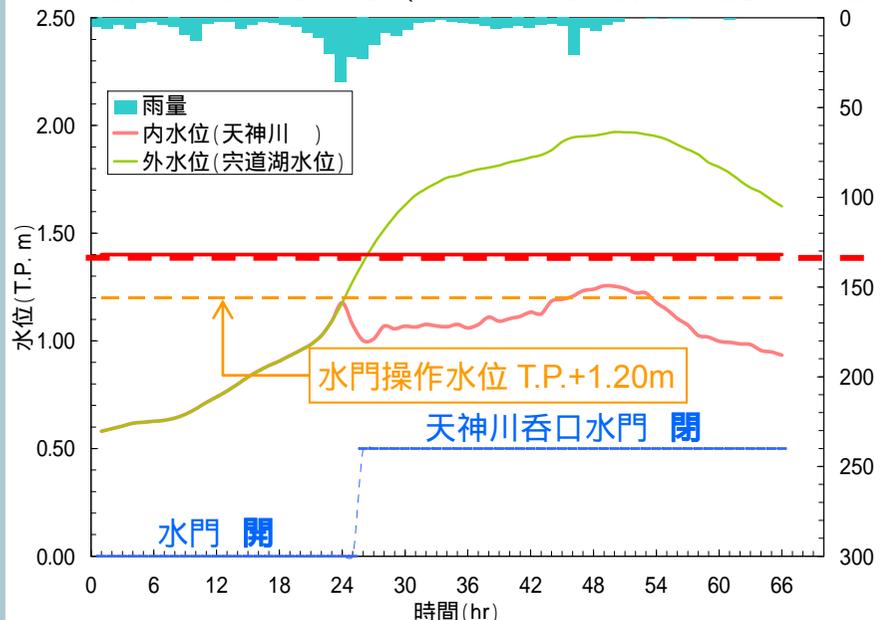


● 解析範囲

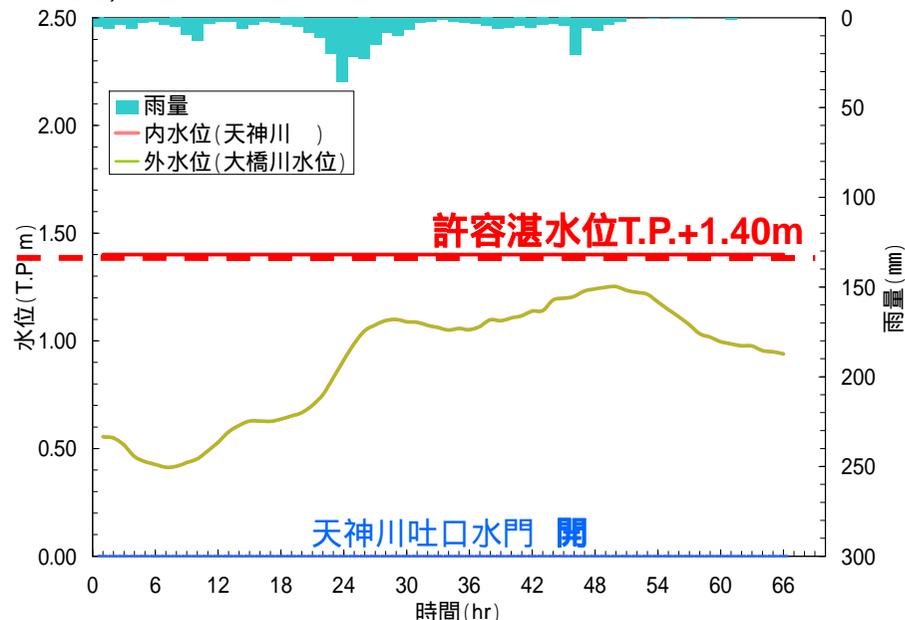


(2) 解析結果(河道条件A)

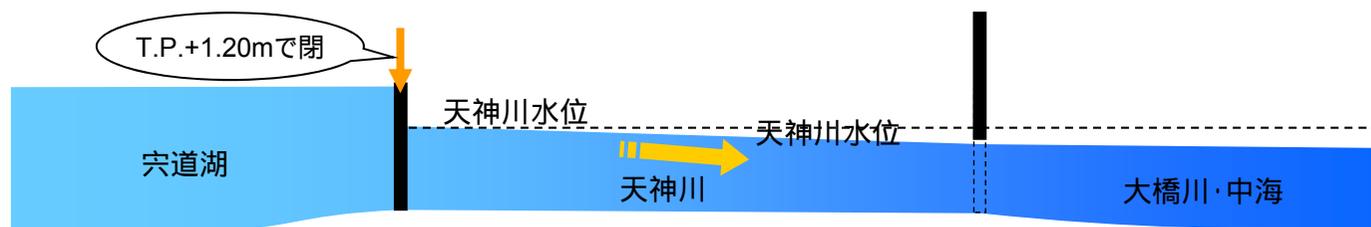
昭和47年7月洪水(ダム・放水路、大橋川改修完成後)



天神川呑口部(宍道湖側)



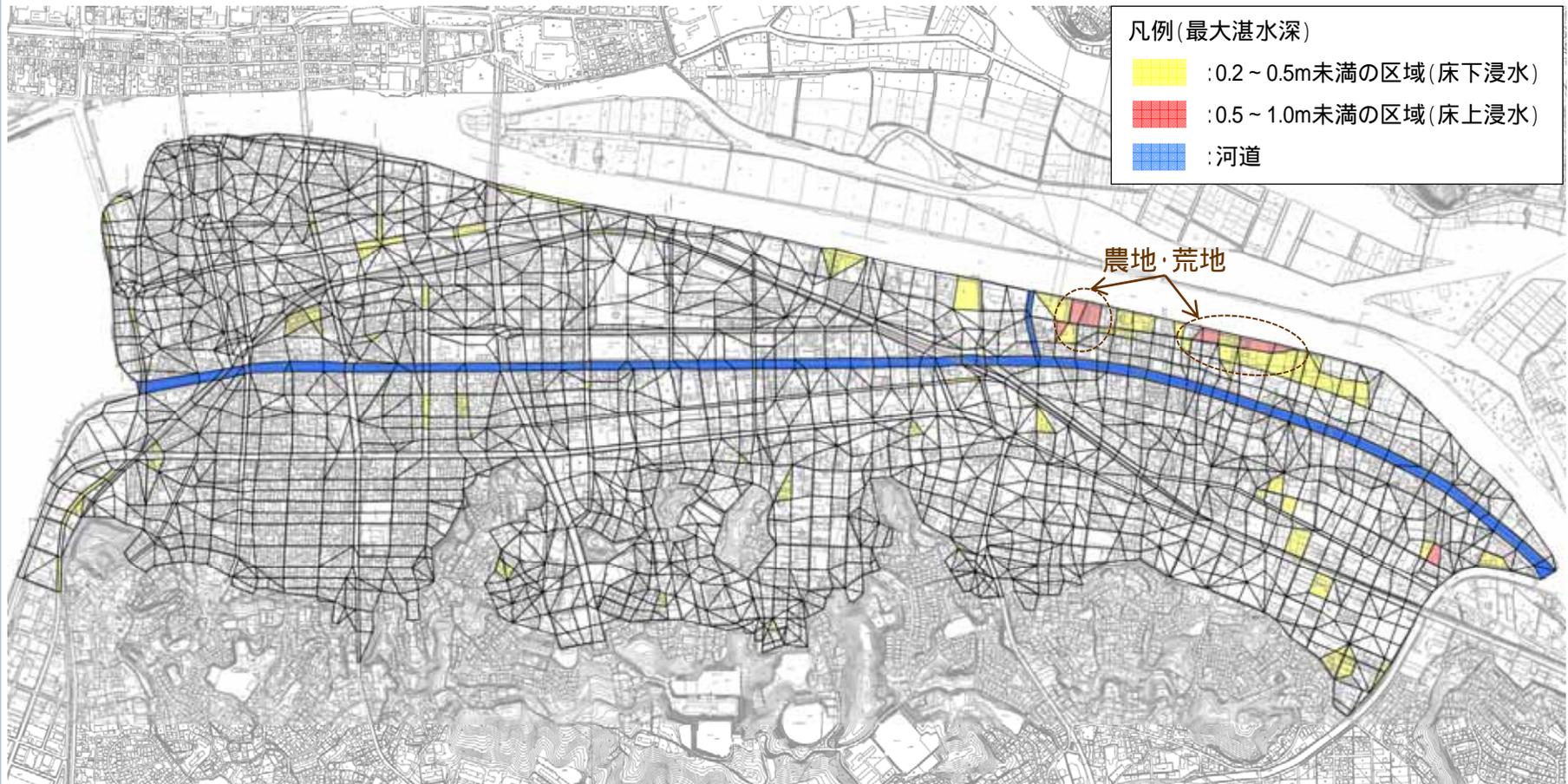
天神川吐口部(大橋川側)



呑口部水門を閉め、外水の流入を防ぐことにより、内水位は許容湛水位(T.P.+1.40m)に達しない

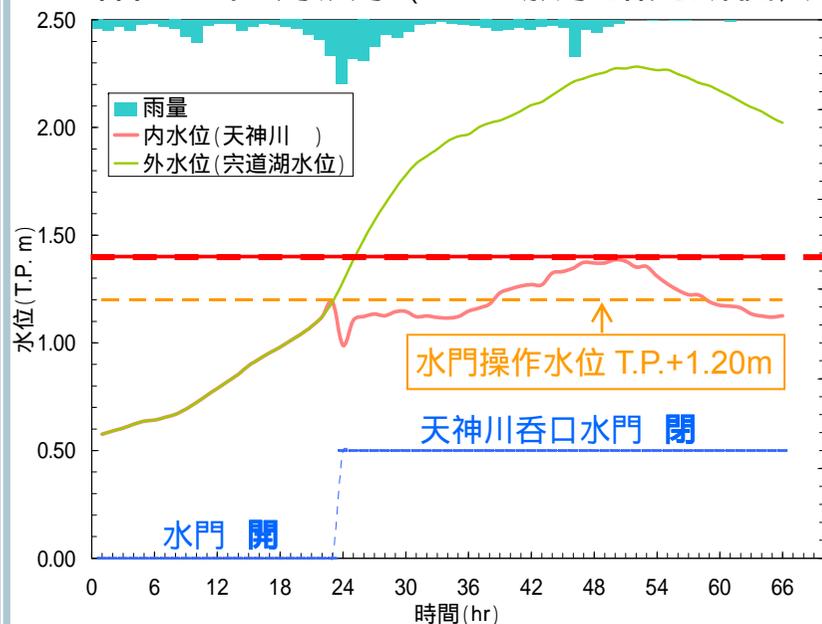
解析結果(最大浸水深図)

昭和47年7月豪雨(ダム・放水路、大橋川改修完成後)

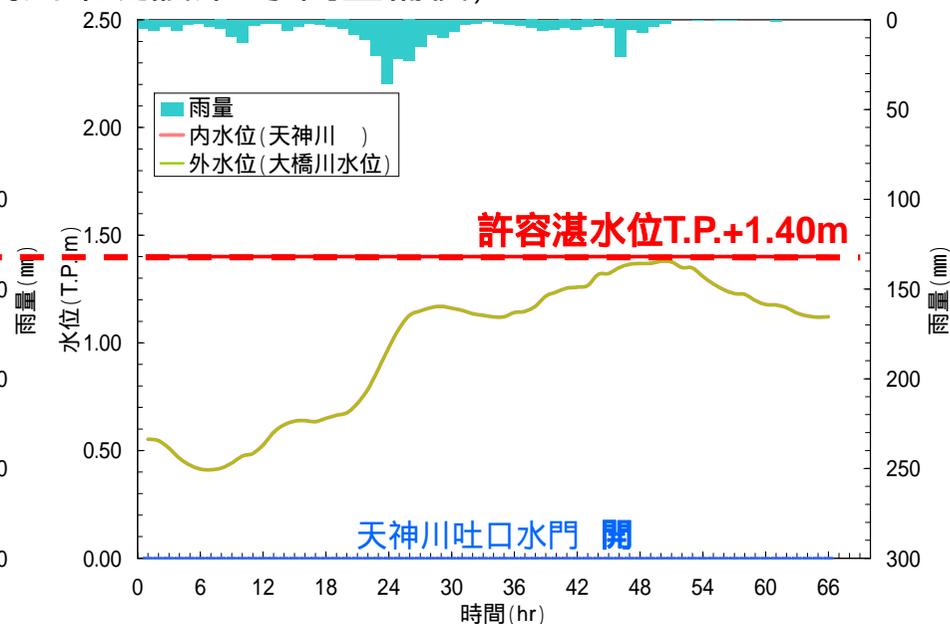


(3) 解析結果(河道条件B)

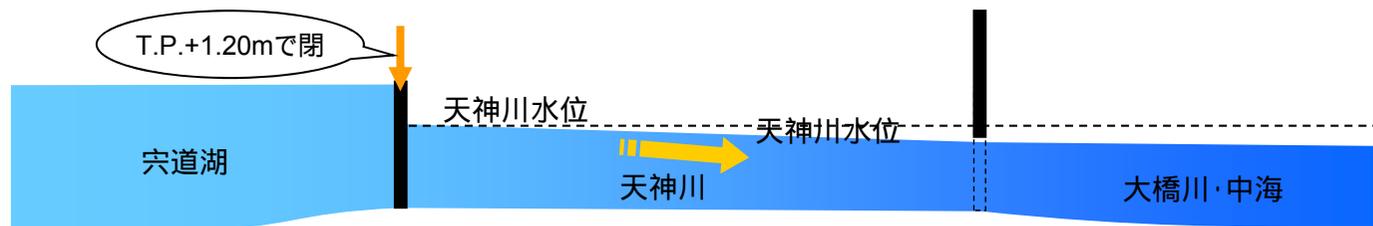
昭和47年7月洪水(ダム・放水路完成後、大橋川築堤護岸・水門整備後)



天神川呑口部(宍道湖側)



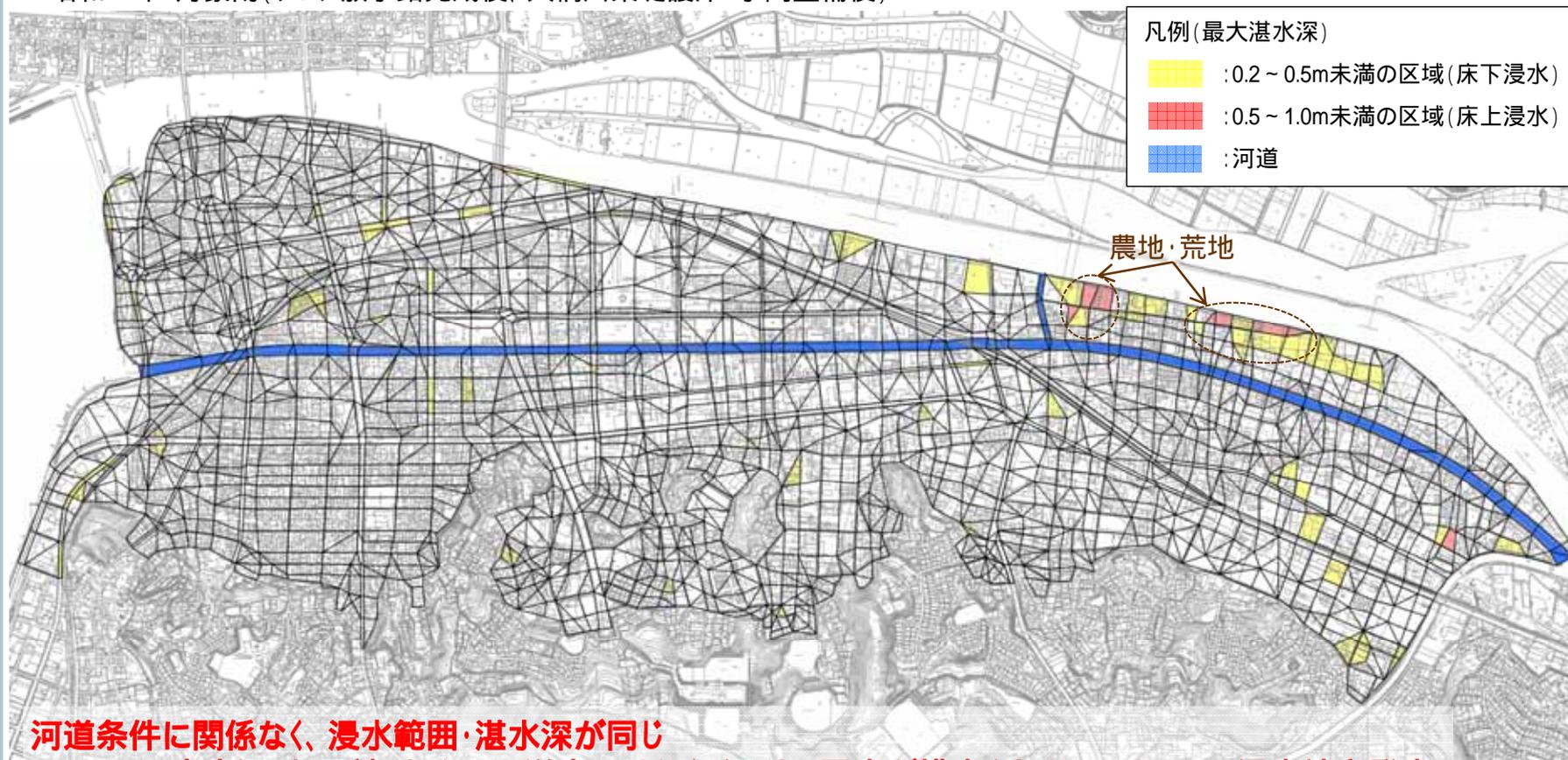
天神川吐口部(大橋川側)



呑口部水門を閉め、外水の流入を防ぐことにより、内水位は許容湛水位(T.P.+1.40m)に達しない

解析結果(最大浸水深図)

昭和47年7月豪雨(ダム・放水路完成後、大橋川築堤護岸・水門整備後)



**河道条件に関係なく、浸水範囲・湛水深が同じ
内水河川(天神川)からの溢水ではなく、河川へ雨水が排水されないことにより浸水被害発生**

【解析結果の考察】 権太夫川右岸(長通地区)について

- ・家屋敷高は十分あるが、隣接する農地等が低いため、メッシュ全体の平均標高が低く評価されている。
- ・実際は水路等があるが、下水道(雨水排水)計画には管径50cm以上しか示されていないため、解析モデルに反映できていない。などの要因から、現況より危険側に評価されている可能性がある。

また、湛水深50cm以上となる箇所の大半は農地や湿地・荒地であり、現地の状況から、**床上浸水家屋はない**と想定される。
床下浸水被害軽減のため、雨水排水施設を整備する必要がある。